

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学麻酔科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年3月

福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 井上聡己

■ 研究課題名

腕神経叢の超音波画像から神経や血管の走行を詳しく調べる解剖学的研究

■ 研究期間

2023年3月 ～ 2025年1月

■ 研究の目的・意義

手術の後などに腕の痛みを和らげることを目的として、超音波ガイド下腕神経叢ブロックという治療がしばしば行われています。これは、患者さんに超音波を当てて神経や血管を描出し、目標とする神経の近くに針を刺して局所麻酔薬を投与するものです。この治療の成功率は100%ではありません。神経や血管の走行には個人差があります。人種によっても違いがあると言われております。神経の走行や配置が通常と異なる場合、神経ブロックがうまく施行できないことがあります。また予想に反して神経の近くに血管がある場合には、出血などの合併症を起こす可能性があります。

この研究では、腕神経叢を撮影した超音波画像を用いて、神経や血管の走行を詳しく示すことを目的としています。現在行っている「超音波ガイド下末梢神経ブロック用ナビゲーションシステムの実用化に向けた研究」という研究において、2022年12月までの時点で110名の方から超音波画像を撮影させていただきました。この研究ではその画像を利用し、腕神経叢の神経や血管の走行を詳しく調べさせていただきます。

この研究により日本人における腕神経叢の神経や血管の詳細な走行が明らかになれば、腕神経ブロックの手技がより安全に、確実に施行できるようになることが期待されます。

■ 研究対象となる方

2020年12月から2022年12月までの間に、「超音波ガイド下末梢神経ブロック用ナビゲーションシステムの実用化に向けた研究」において同意をいただき、動画を撮影させていただいた方が対象です。

■ 研究の方法

「超音波ガイド下末梢神経ブロック用ナビゲーションシステムの実用化に向けた研究」にて、超音波を用いて撮影した動画を用います。撮影した動画を詳細に解析し、神経の配置や血管の走行について調べ、その特徴（位置関係や、血管が存在する割合など）をまとめます。

■ 研究組織

また、この研究の研究事務局は福島県立医科大学麻醉科学講座であり、研究代表者は福島県立医科大学麻醉科学講座 井上聡己です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学でのみ利用します。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

この研究で用いたデータは、他の機関には提供いたしません。

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部麻醉科学講座 担当：大石理江子

電話：024-547-1342 FAX：024-548-0828

e-mail：masui@fmu.ac.jp